

Overseas Trainings

江戸川大学 海外研修 ブックレット



Change starts here
Get on board

Check it!



海外研修の動画は、このQRコードでアクセス!

 江戸川大学

〒270-0198 千葉県流山市駒木474 Tel. 04-7152-0661 (代表)
<https://www.edogawa-u.ac.jp/>

SINCE 1990
EDOGAWA University

Welcome Aboard!



ようこそ、世界の仲間たちへ。

江戸川大学は創立以来、進展する社会のグローバル化に対応し、語学力の習得と異文化体験による視野の拡大を目的とした海外研修を実施してきました。中でもニュージーランド研修は30年以上の歴史があり、今までに約6,000人もが参加。オークランドやパーマストン・ノースなど、各地の大学でのネイティブによる語学研修とホームステイによる生活体験は、学生たちの大きな成長につながっています。

ニュージーランド以外にも、新たにシンガポールやオーストラリア、北米での研修が追加され、多様なプログラムから自分に相応しいコースを選べるようになりました。イギリスやフランス、中国、台湾、韓国など、ゼミごとに行われてきた海外専門研修と併せて、江戸川大学は21世紀の国際社会で活躍できる人材の育成を積極的に進めています。学生という新鮮な感性のもと、実際に外に出て、直に世界を理解することは絶対に必要なのです。

私自身の留学経験を振り返っても、海外での生活は、今までの自分を見つめ直すだけでなく、自らの将来を考えるきっかけを与えてくれます。そしてまた、生涯を共にするような仲間と出会い、友情や絆を深め合うとても良い機会ともいえるでしょう。

大学生活をより充実したものに、そして未来を確かなものにするために、海外研修は絶好のチャンスなのです。ぜひ、江戸川大学の海外研修に参加して、自分自身の可能性を上げてほしいと願っています。



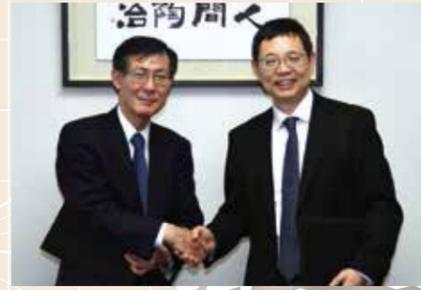
江戸川大学学長
小口 彦太

世界に広がる海外研修

30年以上の歴史があり開学以来実施されてきた海外研修は異文化体験による視野の拡大を目指します。



上海外国語大学(中国)



中国の華中師範大学と 学術協力に関する協定締結

2017年4月19日、江戸川大学は中華人民共和国の華中師範大学と学術協力に関する協定を締結しました。両大学は、それぞれが学術交流及び教育上関心を持つ分野において、交流を推進していきます。

左:江戸川大・小口彦太学長
右:華中師範大・楊 宗凱学長



ウィネベグ大学(カナダ)



ポートランド州立大学(アメリカ)

主な海外研修訪問国

- 海外研修語学提携大学
- 海外専門研修(卒業論文研究を含む)訪問国



華中師範大学(中国)



シンガポール



マッセイ大学アルバニー校(ニュージーランド)

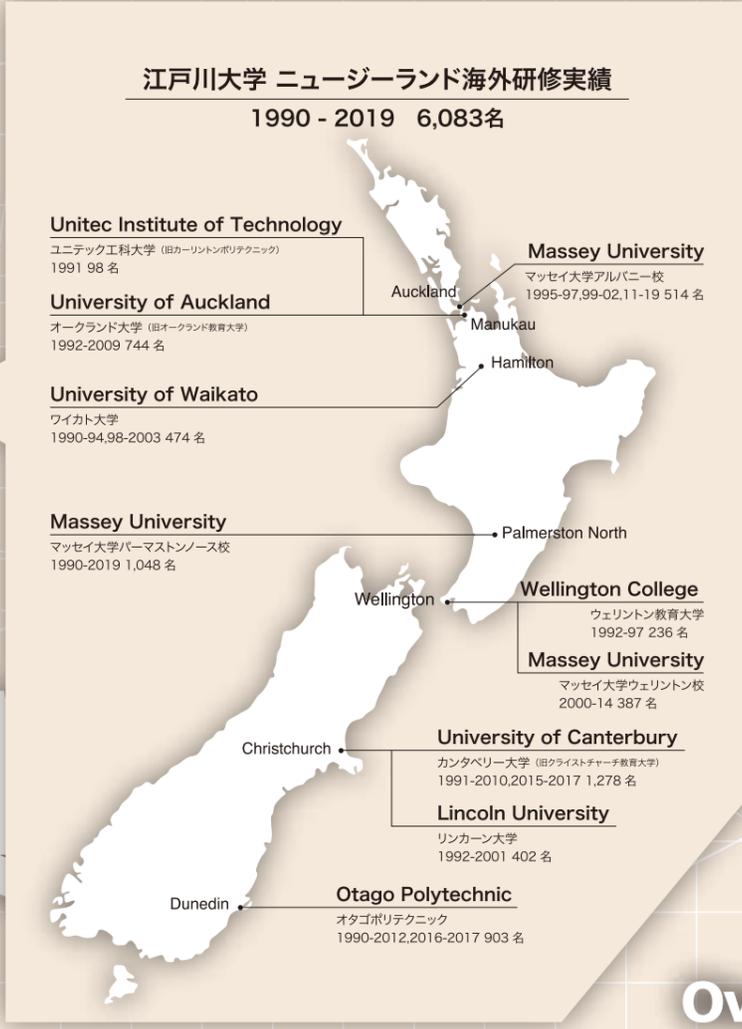


ボンド大学(オーストラリア)

語学の重要性と異文化体験

ニュージーランドでの異文化理解研修のねらいは、語学研修と異文化体験です。現地では原則的に、学生1人に一家族のホームステイ滞在を義務づけています。1日の研修内容は、午前中(9時から12時30分)が語学研修、午後はホストファミリーと過ごすか、またはアクティビティを選択し、その国の文化に触れるように組まれています。

海外研修の体験を通して、学生は確実に成長し多くのことを学んでいます。「自国の文化について無知なことに改めて気づき恥ずかしかった」「日本について、異国に来て初めて知ることがたくさんあった。異国を知るより、まず自分の国をもっと知ることが大切だと本当に思った」「国際人とは、単に外国語に強い人のことではない。海外でも通用するマナーや世界的な視野を身につけていなければならない」といった学生の感想や意見は、本学の目指す海外研修の「語学と異文化コミュニケーションの体験的学習」という意図が、学生に反映され浸透していることを物語っています。



ニュージーランド

海外研修 カリキュラム

海外で英語を学ぶことは、異文化体験を通して視野を広げ、国際社会に対する理解を深めることにつながります。どの研修でも、1学年から履修することができます。



■ 異文化理解研修

開学以来実施されてきたニュージーランドでの海外研修は、今までに約6,000人の先輩が履修しています。

● 異文化理解研修/ニュージーランド

9月第1週から2週間、ホームステイをしながら、ニュージーランドの大学で英語を学びます。平日は午前中に授業があり、レベルごとに分かれて、ネイティブの先生から英語による表現や日常会話のレッスンを受けます。授業では語学だけではなく、ニュージーランドの文化を体験するカリキュラムも。午後は自由時間で、ショッピングやスポーツなどを楽しむことができます。また、週末はホストファミリーとバーベキューを楽しんだり、小旅行にでかけることもあります。生活体験を通して、語学力の上達が実感できる研修です。



■ 海外体験研修

異文化体験を目的とし、異文化理解や語学学習、外国をフィールドとした専門学習のための入門編です。

● 海外体験研修/シンガポール

現地研修先であるシンガポールは、マレー、中国、インド、イギリスなど多様な文化だけでなく、ポルトガルやオランダによる侵略、イギリスによる植民地化、日本の占領、マレーシアからの分離独立など、様々な歴史的事件を経て形成。リゾート地であるセントーサ島やマリナー地区の見学、シンガポール国立大学との交流といったプログラムを通じて、国際感覚を養います。

● 海外体験研修/中国

中国の武漢にある華中師範大学は、江戸川大学と学術交流に関する包括協定校で、教員養成系の大学として中国で知名度が高い大学です。実施時期は夏休み、または春休みの1週間を予定しています。研修の目的は海外での体験的、実践的な学びを通して異文化理解を深めることです。研修内容は、現地大学生との交流、中国文化の体験、企業の見学等です。



■ 語学研修

より深く、語学の習得をめざす人のために、様々なプログラムを選ぶことができます。

● スカラシップ(奨学金による語学研修)

スカラシップ(奨学生)は、「異文化理解研修(オセアニア)」または「語学研修(オセアニア)」を履修した学生のうち優秀な学生を対象に、ニュージーランドのマッセイ大学での6週間の英語研修に授業料全額免除で参加できる制度です。現地での生活費、交通費等は自己負担ですが、日本からニュージーランドへの渡航費とホームステイ代は大学が一部負担します。

● 語学研修(オセアニア)

海外における英語研修のステップアップとして、「語学研修(オセアニア)」があります。8月から9月にかけての4週間、ニュージーランドまたはオーストラリアの大学で英語研修プログラムを受講します。「語学研修(オセアニア)」では、原則として月1回のガイダンスに出席し、5月と10月に実施されるTOEICテストを受験することが義務付けられています。「語学研修(オセアニア)」を修了すると、卒業要件である1群基幹科目(語学系科目)として4単位が認められます。

● 語学研修(欧米)

語学研修(欧米)は、学生の英語能力と研修目的により2つのプログラムから選べます。一つは、アメリカの大学で行われるプログラムです。ホームステイと寮での生活を体験できるので、英会話を学びながらキャンパス外でのアクティビティにも興味のある学生に向いています。もう一つはカナダの大学で、ホームステイをしながら行われるもので、英語力を強化したい学生向けです。どちらのプログラムも、8月初旬から3~4週間行われます。



■ 海外留学

語学力を活かして現地の大学の単位を取得。世界で活躍するチャンスが広がります。

● 留学制度

江戸川大学で単位が取得できる留学には「短期留学」と「長期留学」とがあります。どちらでも、ニュージーランド、アメリカ、カナダの大学への留学が可能です。

○短期留学

アメリカのポートランド州立大学で、1月から3月の11週間、英語を学ぶ研修プログラムです。修了後、現地での試験に合格するとポートランド州立大学の単位が取得でき、帰国後の審査を経て、本学の卒業所要単位としても認定されます。

○長期留学

長期留学は、6か月または1年間の2つの期間があり、ニュージーランド、北米の提携大学へ留学する方法と、自分で留学先を選定し入学許可を得た上で留学する2つの方法があります。



● 長期海外研修(オセアニア)・(欧米)

長期海外研修では、1月から5月にかけてオセアニア(ニュージーランド・オーストラリア)、北米(アメリカ・カナダ)の大学で英語研修プログラムを受講します。将来、英語を生かした仕事に就きたい、海外の大学や大学院で本格的に学びたいと考えている学生に向いています。

○長期海外研修(オセアニア)

ニュージーランドまたはオーストラリアの大学にあるインターナショナル・クラスに入り、ホームステイをしながら10-16週間英語を学びます。

○長期海外研修(欧米)

アメリカとカナダの大学で、1月から5月にかけて約15週間英語をトータル(listening/reading/writing/speaking)で学ぶプログラムです。アメリカでは、ネイティブスピーカーや外国人学生と一緒に寮生活を送ります。カナダは、ホームステイを選択できます。



■ 専門研修

● 海外専門研修・経営研修

海外でのフィールドワークは、「生」の多文化に触れ、多様な価値観を知り、国際社会の課題を発見する力を鍛えます。大学で十分な事前学習を行ったのち、教員が引率して海外でのフィールドワークを実施します。



後輩たちへの「おすすめ」を聞いてみました!

単語でもいいので伝えることが重要です。
人間心理学科/佐伯龍輝

初めてのホームステイはとても緊張しましたが、**ホストファミリーも優しく**
とても楽しかったです。マス・コミュニケーション学科/新目夏希

英語嫌いだったけど**少し好きになりました**。いい経験になったのでよかったです。
マス・コミュニケーション学科/新井真生

日本のスイートポテトは**通用しない**です。日本円への換金は
海外でやったほうがいいぞ。情報文化学科/川原洋樹

私の中で1番と言っているほど良い経験になりました。
思いっきり楽しんでください!
経営社会学科/大久保美咲

英語が苦手だからと言って逃げるのではなく**苦手だからこそ行ってみよう**という気持ちで
参加してみたい。マス・コミュニケーション学科/沼田遥

食事はおいしいものが多いので心配はあまりしないで
大丈夫だと思います。情報文化学科/黒田雅

英文法の知識がなくても**単語で会話ができた**。英語の授業がわかりやすくてとても楽しかった。
マス・コミュニケーション学科/小林千夏

日本にはない**最高の景色を見る**ことができます。日本では使わなかった
英語の言い回しを学ぶとても良い機会です。人間心理学科/菊地柊斗

たくさんの人と交流しあうことでお互いのことを知り、より相手のことを理解でき、**絆を深め合う**ことができます。
情報文化学科/中村優希

英語が苦手な私でもこの2週間は本当に**最高の思い出**になりました。
子供たちがすごく可愛くてホームステイが最高に楽しかった。マス・コミュニケーション学科/高橋夏乃

とても楽しかった2週間でした!最初は不安だったけどみんなとコミュニケーションがとれるようになって
英語が話せるようになり、**自信ができました**。マス・コミュニケーション学科/米村洋紀

ニュージーランド研修は**最高の仲間**と出会えます。
こどもコミュニケーション学科/札幌美希

英語だけでなく2週間毎日いろんな
出会いの発見があります。経営社会学科/守田夏海

英語が分からなくても友達がいれば
充実した時間を過ごせます。
マス・コミュニケーション学科/小川優奈

自分の視野を広げる**絶好のチャンス**です。
情報文化学科/村沢大輝

ホームステイとか**英語ばかりで大変**だったけど、
今思えばいい思い出です。
マス・コミュニケーション学科/中山結貴

単語だけでもいいので、とにかく**たくさんしゃべること**を心がけると
色々なお話ができます。人間心理学科/鎌田芹風

日本と違うところがとても多いので「**違うところ探し**」をすると
楽しいですよ! 人間心理学科/三森寿理亜

「知りたい」「伝えたい」という気持ちがあれば短期間でも
英語を聴くのが好きになれます。人間心理学科/岸美紀

ホームステイは最初とても緊張しましたが、**ポットラックディナー**をして話せるようになりました。
本当に楽しい2週間が過ぎて良い経験です。情報文化学科/中野りか

ホームステイ先で私はコミュニケーションがあまり取れなかったので、なるべく話せなくてもジェスチャーをして
何かを伝えようと努力したほうが良いと思います。人間心理学科/高橋明日香

今までの自分だったら絶対しないことを**チャレンジ**することができました。
英語を学ぶことが大嫌いだったのに大好きになりました。人間心理学科/工藤琢朗

私は車椅子でしたがチャレンジをして楽しく過ごすことができました。**どんな人でもできる**と思います。
少しでも興味があればぜひチャレンジしてみてください! 人間心理学科/石川天駿

最初は英語が伝わらなくて不安でしたが**ジェスチャーをしたり、気合**で意外と行けます!
ニュージーランドでは話したことがない子とも仲良くなれるのでとてもいいです!
マス・コミュニケーション学科/成田あすか

海外専門研修

「海外専門研修」は各学科ごとに行われる海外でのフィールドワークです。実際に現地での生活や社会に触れることで、様々な文化や制度、仕組みを理解し、その背景とともに国際社会における課題を解決する手掛かりを考察します。

学生にとっては、将来の目標づくりや次の学習への動機づけとなり、自己成長へのモチベーションを高めることができます。

■海外経営研修「中国」

中国経営研修の目的は、経済のグローバル化が進む中で、海外での体験的・実践的な研修を通して、文化の多様性及び国際経営の意味を理解する国際的な視野を持つ人材の育成と「生きた知識」の習得を図ることです。また、学生達が主体的に自ら疑問を持って社会問題に取り組む姿勢の養成も図ります。

中国経営研修は夏休みを利用して、中国上海周辺を予定しており、中国上海理工大学の協力を得て実施します。その主な内容は、企業見学(中国地場系企業、日系企業)、市場・生活レベルの調査、現地大学生との交流、歴史文化古跡の見学です。



上海理工大学科技园

■海外専門研修「台湾」

1937年に日本の国立公園法に基づいて指定された台湾の国家公園は、利用が開始されないまま終戦を迎えたものの、1972年にアメリカの営造物型の国立公園をモデルとしてあらためて創設されました。本研修では、これら台湾の代表的な国立公園を訪問し、その違いについて学びます。

研修は、台北を基点にタロコ国家公園、陽明山国家公園、野柳地質公園、台北郊外の九份と魅力ある場所を回ります。公園の資料館や、野柳風景特定区(野柳ジオパーク)も訪ね、風雨や人の影響でもろく崩れやすいジオパークの運営課題についても多くを学びます。



九份の街は山沿いにある

■海外専門研修「香港」

1世紀半の間英国領だった香港は中国語と英語、中国文化と英国文化のチャンポン都市です。おまけに世界中の人、物、情報が集まる国際都市でもあります。つまりこれからの日本が直面するグローバル化、国際化の大先輩で、さらには人類初の「一国両制」つまり多文化・多民族共生の大実験中でもあります。

文化人類学の目で分析するこの研修は、近未来の日本を、世界を背負っていく大学生にとって、いわば必修科目なのです。



迷信、占いが大好きな香港人に人気のお寺「黄大仙」
…激動の歴史を生き抜く知恵を学ぶ

■海外専門研修「アメリカ」

本研修では、まず世界の商業、文化、ファッション、エンターテインメント等に多大な影響を及ぼしている最大の都市、ニューヨークを訪ね、その魅力の原点と都市の課題について様々な体験を通して学びます。

また、ワシントンD.C.の国立公園局を訪ねて、国立公園制度とその管理についてヒアリングを行うとともに、南北戦争の発端となったハーパーズフェリーを訪ね、デザインセンターと歴史公園を見学し、日米の国立公園の比較研究を行います。あわせてスミソニアン博物館やペンタゴンモールなどの見学も行います。



公園局での講義は資料もたくさん

■海外専門研修「パリ・ロンドン」

本研修は、イギリスおよびフランスにて実施されます。博物館の視察、および世界遺産や文化遺産の現地調査を行い、専門的知識および調査技術を習得します。また、ユネスコ(国際連合教育科学文化機関)などの国際機関の視察および政策担当官によるレクチャーを受講し、国際力を磨きます。事前授業では、個人でテーマを設定し、調査計画の立案を行います。事後授業では、調査結果をまとめ、官公庁や学術組織などが主催する学術会議にて研究発表を行います。



ロンドン・トラファルガースクエアでの調査風景

■海外専門研修「ベトナム」

本研修では、少数民族のメッカといわれているベトナム北部サパを訪ね、モン、花モン、赤ザオ、ザイ、タイ等の少数民族の生活安定のための支援活動、ならびにホアン・リエン国立公園の生物多様性保全のための環境教育ボランティアを体験します。また、それぞれの民族の独自の生活、習慣、文化などについて文化人類学の観点からも学習しながら、エスニックツーリズム推進の支援活動を行います。



タフィン村の赤ザオ族の女性達と

■海外専門研修「オーストラリア」

エコツーリズムを推進しているオーストラリアクイーンズランド州を訪ね、オーストラリア最大の観光保養地として知られるゴールドコーストを拠点に、世界遺産に指定された Gondwana 多雨林地域にあるラミントン国立公園やスプリングブルック国立公園ではパークインタープリテーションやエコツーリズムを、コアラ保護区や野生生物サンクチュアリ等では環境教育について学びます。

夏季休暇中の約1週間、担当する教員とともに、10名の学生が、エコツーリズム認証制度や自然についての解説を行うインタープリテーション等についての研修を行いました。



ラミントン国立公園のツリートップウォークへの入り口で

海外研修参加者の声



日本から一步踏み出して

マス・コミュニケーション学科 根岸 未夢

シンガポール研修で他国の文化に触れることによって自分の視野が大きく広がったと感じました。一つの国なのに公用語は1つではなく4つあるというのに驚き、英語以外の言語に触れたのはとても貴重な経験だったと思います。また、景観を大事にするため電信柱も街中になく、道路沿いに大木が多く植栽されているのは日本ではまず見られない光景なので、異文化に触れる面白さを実感できました。学習意欲も刺激され非常に有意義な時間になりました。

初めてでも大丈夫

こどもコミュニケーション学科 札野 美希

ニュージーランドでの異文化理解研修に行く前は海外で勉強することやホームステイをすることが初めてでとても不安でした。しかし、ホストファミリーがとても優しく、何でも教えてくれたり、言葉に詰まっても待ってくれたり、言い換えてくれたりで安心して2週間生活することができました。そして、この研修で出会った仲間は一生の仲間だと感じます。日本に帰ってから連絡を取り合ったり、学食で会ったりしてすごく楽しい日々を過ごしています。「とっても楽しかった」「充実していた」「行ってよかった」と思える経験になります！



生きた英語を学べる

現代社会学科 阿部 文興

4週間のニュージーランド語学研修ではReading、Writing、Listening、Speakingの授業があり、基礎から学び直すことで苦手部分を再発見することができました。休日は仲間やホストファミリーとオークランドの中心地へ出かけ、観光名所や現地の人々が薦める場所を多く巡ることができました。英語を使う機会が授業以上に増え、生活の中で使われる英語を多く耳にすることができるので休日はぜひとも街や公園など外に出て、生きた英語に多く触れてほしいです。

優しいホストファミリー

経営社会学科 守田 夏海

ニュージーランドではホストファミリーが私の話を優しく聞いてくれて、おすすめの場所やおいしいレストランなどを教えてくれました。そのため会話をするきっかけを作ることができました。毎日夕食後に写真や動画を見せたりしながら、その日にあったことを話し、ホストファミリーと仲良くなることができました。簡単な英語で話してくれたら、私が理解できなかったときは言い方を変えて話してくれたのでコミュニケーションの不安は軽減することができました。



英語の魅力がわかった

心理学科 上岡 純平

オーストラリアでは文化の違いやコミュニケーションを学び、英語という言葉の魅力も知ることが出来ました。オーストラリアで感じた英語の魅力を忘れないように英語に触れて、英語力を高めたいと思います。

オーストラリア人は皆優しく私の下手な英語を真剣に聞いてくれたので現地では不安も少なく楽しく過ごすことが出来ました。

今回のオーストラリア研修は貴重な体験の連続で多くを学びました。オーストラリアで過ごした1ヶ月の経験を生かしてこれからの大学生活を過ごしていきたいです。



最高の英語環境

情報化学科 外間 花菜

オーストラリアのボンド大学では全ての授業が英語で、グループワークをする際には他の国から来た学生と英語でコミュニケーションを取り、英語を通じて仲良くなることができました。また、ホームステイでの生活ではネイティブのホストファミリーとのコミュニケーションだったので英語を使う機会が多く、英語学習の為に留学した私には最高の環境でした。研修先のゴールドコーストは観光地が多かったので、休日には動物園や遊園地など、友達と色々な場所に行つて楽しむことができました。そういった経験を通して行動力が身につく人として成長したと思います。



体験しないとわからない

現代社会学科 鈴木 歳穂

今回のイタリア研修が私にとって初めての海外でした。そして、イタリアは観光資源にとっても恵まれていると感じました。街中を歩いていると、どこからどこまでが世界遺産なのか分からなくなるほどです。ローマやフィレンツェだけでなく、移動で通り過ぎる場所も「ここも世界遺産だよ」と言われ、驚きました。まるでディズニーランド、日常世界なのに夢の国にいるような気持ちでした。このように観光資源が多いイタリアが観光産業で強い国であることは当たり前のことでしょう。また今回の海外研修で、実際に外に出てみないと分からない、体験してみないとわからないことがたくさんあると感じました。この貴重な体験を忘れず、これからの人生に活かしていきたいです。



「その後」の英語が、楽しくなりました

マス・コミュニケーション学科卒 平山 友梨

大学生活の4年間のなかで海外を訪れ、現地のホストファミリーや国際色豊かなクラスメイトたちに出会い、積極的に交流を図ることができ、入学前には思ってもいなかったほど英語力を大きく伸ばすことができました。当時マス・コミ学科の必修科目だったニュージーランド研修に参加する前は英語の授業があまり好きではありませんでした。しかし、研修に参加し、現地の方々の温かさに触れたことで、受験や就職のためだけではなく、コミュニケーションツールとしての英語を学ぶ楽しさを知ることができ、英語をbe動詞などの基礎の基礎から学び直そうと心に決めて帰国し、一から学習をやり直しました。



海外研修 Question & Answer

Q1. どのような研修がありますか？

A1. 大きく分けて4つのタイプに分かれています。

- 「海外に興味はあるけど…」初心者向けの「海外体験研修」
- 「自分の英語はどこまで通じるんだろう」中級者向けの「異文化理解研修」
- 「英語力をさらに磨きたい！海外をもっと知りたい！」上級者向けの「語学研修」
- 「日本と海外での違いは？」実際に現地でする「海外専門研修」です。※ 特定学科

Q2. 研修に参加するために必要な条件はありますか？

A2. 「海外体験研修」「海外専門研修」は「行きたい」という気持ちがあれば参加できます。しかし「異文化理解研修」「語学研修」は、実際に海外で生活・学習するため最低限の語学能力が必要になってきます。参加する研修期間により、英検またはTOEICで一定基準のスコアや結果及び、指定科目（「海外研修英語I」）の履修、面接等が条件となります。

Q3. 単位認定されますか？

A3. 「海外体験研修」「異文化理解研修」「海外専門研修」「語学研修」は卒業に必要な単位数に含まれます。「スカラシップ」「長期海外研修(オセアニア・欧米)」等は卒業要件単位数に含まれない科目となりますので気を付けてください。

Q4. 研修資金が足りないのですが…

A4. 大学独自の海外研修奨学金があり、詳細は5月頃エドポタ(電子掲示板)に掲載します。また、大学から補助が出る研修もあります。

Q5. 研修先での安全や連絡手段等は確保されますか？

A5. 「海外体験研修」「海外専門研修」には引率教員が同行するので、困ったことがあれば相談できます。「異文化理解研修」「語学研修」には教員の同行はありませんが、現地スタッフと国際交流センターが対応します。緊急時は開学以来、数々実施してきた経験を踏まえ、ご家庭・大学・現地の連絡を密に取っていく体制が整えられていますのでご安心下さい。

Q6. 英語は不得意ですが海外には興味があります。研修には参加できますか？

A6. まず、日本から飛び出すことが大切です。「海外体験研修」から参加してみましょう。英語が不得意でも、研修後英語に目覚めて伸びていった先輩達がたくさんいます。帰国後も、ネイティブ教員等と話して英語に触れる機会を増やしていきましょう。TOEICや英検のチャレンジもおすすめします。勉強の仕方がわからない場合は国際交流センターや英語担当教員に相談してください。皆さんのやる気を応援します。

Q7. 英語には自信がありますが、どの研修に参加するか迷っています。

A7. 英検やTOEICで英語力を客観的に計ってみましょう。ネイティブ教員とスムーズに会話が進むか試してみるのも手です。自分の英語力を確認した上で、どの研修が自分にあっていくか検討して下さい。国際交流センターも相談にのります。

Q8. 初めての海外です。空港での手続きや現地での生活、交通手段、マナー等がわからないのですが。

A8. 事前研修を複数回行います。希望する研修先の文化や生活マナー等を学び、現地に行っても困らず、すぐ研修に集中できるようにします。質問等は国際交流センターで受け付けますのでお気軽にご相談下さい。

Q9. 持病等があり、海外での生活が不安です。

A9. 2週間以上の研修は原則ホームステイとなります。現地受入大学に事前に申告をし、ホームステイ先の調整が必要な場合があります。心配な方は事前に国際交流センターに相談してください。

参加した学生に聞きました！

Q1.なぜ海外研修に参加しようと思った？

- ・語学力をアップしたい
- ・異文化を体験したい
- ・ホームステイに興味があった
- ・自分を変えてみたい
- ・上級生の話を聞いて

Q2.海外研修に参加にあたり、不安に思っていたことは？

- ・現地の人とのコミュニケーション
- ・ホストファミリーと馴染めるか
- ・授業についていけるか
- ・現地での生活
- ・食事が合うか

Q3.海外研修に参加して、どんな力が身についた？

- ・異文化理解力
- ・コミュニケーション力
- ・語学力
- ・行動力
- ・向上心

文法や発音なんか気にしなくても会話はできます！
だんだん話せるようになり自分に自信ができました。
経営社会学科 大久保美咲

Q4.海外研修で何が楽しかった？

- ・英語の授業やアクティビティ
- ・ホストファミリーとの交流
- ・ショッピングや街の散策
- ・素晴らしい自然や景色
- ・何もかも全部! (*^^)v

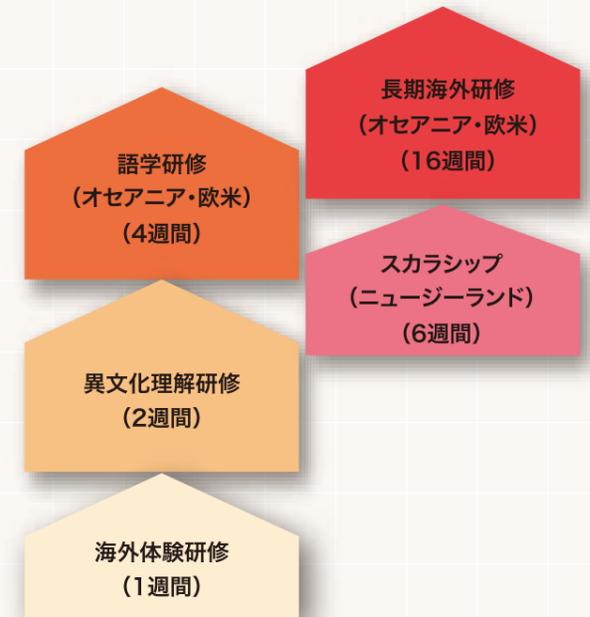
TOEIC テストとスコアの目安

TOEIC スコア	できることの目安
990 点	自分の専門分野の高度な専門書を読んで理解できる。
900 点	英語で書かれたインターネットのページから必要な情報・資料を探し収集できる。
800 点	会議の案内等の社内文書・通達を読んだり、日常業務のやり方についての説明を理解できる。
700 点	ゆっくりと配慮して話してもらえば、目的地までの順路を理解できる。
600 点	うちとけた状況で、How are you ?、Where do you live ? といった簡単な質問を理解できる。
500 点	看板を見てどんなサービスや商品を提供する店か、理解することができる。
400 点	
300 点	

■TOEICテスト 2時間、200問、マークシート方式、990点満点

- リスニングセクション 5~495点(5点刻み)
会話やナレーションを聴いて設問に解答(45分間・100問)
- リーディングセクション 5~495点(5点刻み)
印刷された問題を読んで設問に解答(75分間・100問)

江戸川大学 海外研修プログラム



英語は完璧でなくても、身振り手振りで大丈夫

本学では生きた英語を学び、異文化理解と交流を深めるために、1年次生から海外研修を実施しています。海外で英語を学ぶ経験は、英語力を培うだけでなく、異文化体験を通して視野を広げ、国際社会の理解を深めます。1990年の開学以来実施されてきたニュージーランドでの海外研修(「異文化理解研修」)は、過去6000人以上の先輩が履修しています。海外研修入門編としてシンガポールの「海外体験研修」、ステップアップとして「語学研修(オセアニア・欧米)」等、多様なプログラムが用意され、1年次生の皆さんへの積極的な参加を奨励しています。海外での英語によるコミュニケーションの喜びは、英語への関心と英語力の向上を促し、将来の可能性を広げることにつながるでしょう。

「間違いなく素晴らしい体験ができる!」「海外研修に参加しない理由はない!」という先輩の言葉に耳を傾けて、海外研修履修希望者、海外研修に興味のある学生は、4月中旬の水曜4限、映像ホールで開催される海外研修ガイダンスに出席してください。ガイダンスで会いましょう!



国際交流センター長 新井正彦

